



米国発表報道資料意識

## アドビシステムズ社が 2004 会計年度および同第 4 四半期において 過去最高の売上を達成

**Adobe Acrobat および Adobe Creative Suite の堅調な導入拡大により、  
前年比 29% の増収を達成**

### 【2004 年 12 月 21 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2004 年 12 月 16 日）（NASDAQ：ADBE）Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社）は、2004 年度第 4 四半期（2004 年 9 月から 2004 年 11 月）および 2004 年会計年度（2003 年 11 月 29 日から 2004 年 12 月 3 日）の決算結果を発表しました。

今四半期の売上は 4 億 2,950 万米ドルで、同社創立以来過去最高となりました。本年第 3 四半期は 4 億 370 万米ドルで、2003 年度第 4 四半期の 3 億 5,860 万米ドルと比較して 20% の増加となりました。同社が 2004 年 10 月 26 日に上方修正した今四半期の売上目標は 4 億 1,000 万米ドルから 4 億 2,500 万米ドルの間でした。

アドビシステムズ社 社長兼 CEO である Bruce Chizen（ブルース チゼン）は、「今四半期の素晴らしい業績により、私たちは 2004 年度を目覚ましい業績で締めくくることができました。Acrobat® ならびに Creative Suite 各製品への引き続き堅調な需要に加え、コンシューマ向け製品への強い需要を反映して、四半期ベースでは過去最高の売上を記録しました。さらに、本年度のインテリジェントドキュメント分野のサービジネスにおいては、1 億米ドルを超える売上と、前年度比 50% 増の事業拡大を達成しました。2005 年度中に計画されている一連の新製品の発表と、われわれの前に広がる数多くの市場機会を考えれば、先日発表した 2005 年度の 2 桁増収という目標が十分達成可能であることを確信しています。」と述べています。

今四半期の「一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）」に基づく希薄化後 1 株当たり利益は、0.45 米ドルでした。ベンチャープログラムへの投資による収益を除く、同利益の参考値は 0.44 米ドルでした。GAAP ベース、参考値ともに上方修正後の今四半期の同利益の目標は、0.40 米ドルから 0.43 米ドルの範囲でした。

今四半期の GAAP に基づく純利益は 1 億 1,350 万米ドルでした。前年同期実績は 8,330 万米ドル、本年第 3 四半期実績は 1 億 450 万米ドルで、前年同期比 36% の増加となりました。

過去に計上した事業再編に関する引当金の一部戻し入れ、および投資損益に該当する項目を除く純利益の参考値は、今四半期が 1 億 1,040 万米ドル、前年同期実績は 8,300 万米ドル、本年第 3 四半期実績は 1 億 560 万米ドルで、前年同期比 33% の増加となりました。

今四半期の GAAP に基づく希薄化後の 1 株当たり利益は、2 億 5,030 万株の加重平均株数に対し 0.45 米ドルでした。前年同期の 2 億 4,550 万株に対する同利益は 0.34 米ドル、本年第 3 四半期の 2 億 4,710 万株に対する同利益は 0.42 米ドルでした。

今四半期の GAAP に基づく営業利益は、1 億 4,640 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 1,530 万米ドル、本年第 3 四半期実績は 1 億 4,030 万米ドルでした。売上に対する GAAP に基づく営業利益率は今四半期が 34.1%、前年同期が 32.1%、本年第 3 四半期が 34.8% でした。

過去に計上した事業再編に関する引当金の一部戻し入れを除く営業利益の参考値は、今四半期が 1 億 4,640 万米ドル、前年同期実績は 1 億 1,520 万米ドル、本年第 3 四半期実績は 1 億 4,030 万米ドルでした。売上に対する同営業利益の割合は、今四半期が 34.1%、前年同期が 32.1%、本年第 3 四半期が 34.8% でした。

### **2004 年会計年度で過去最高の売上を達成**

本年度の売上は 16 億 6,700 万米ドルと過去最高の額となりました。前年実績は 12 億 9,500 万米ドルで、前年比 29% の増加となりました。

本年度の GAAP に基づく純利益は 4 億 5,040 万米ドルでした。前年実績は 2 億 6,630 万米ドルで、前年比 69% の増加となりました。

過去に計上した事業再編に関する引当金の一部戻し入れ、および投資損益に該当する項目を除く本年度の純利益の参考値は 4 億 4,850 万米ドルでした。前年実績は 2 億 7,500 万米ドルで、前年比 63% の増加となりました。

本年度の GAAP に基づく希薄化後の 1 株当たり利益は 1.82 米ドルでした。投資損益を除く本年度の希薄化後の 1 株当たり利益は 1.81 米ドルでした。

### **2005 年度第 1 四半期および 2005 年会計年度の目標を発表**

アドビ システムズ社は 2005 年度第 1 四半期の目標を、売上高 4 億 3,500 万米ドルから 4 億 5,500 万米ドル、売上総利益率約 94%、および営業利益率は GAAP ベース、一時的な要因を除く参考値ともに 34% から 35% に設定すると発表しました。

2005 年度第 1 四半期の売上に対する費用比率の項目別目標は以下の通りです。

研究開発費	およそ 19%
販売・マーケティング経費	およそ 31% から 32%
一般管理費	およそ 9%

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済み株式数について、2005 年度第 1 四半期は 2 億 5,400 万から 2 億 5,500 万株の範囲にすることを目標にしています。営業外収益については約 350 万米ドルを、実効税率については 25% を目標としています。以上の目標より、2005 年度第 1 四半期の 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベース、一時的な要因を除く参考値ともに、0.45 米ドルから 0.48 米ドルの間となります。

アドビ システムズ社は現在のところ、一時的な要因を除く参考値として、1 株当たり利益と営業利益率の目標は、GAAP ベースの目標とほぼ同じであると考えています。

以上の事柄に基づき、アドビ システムズ社は 2005 年度における売上目標を 18 億 5,000 万米ドルから 19 億万米ドル、営業利益率を約 34% から 35% とすることを再確認しました。

アドビ システムズ社取締役会は、今四半期の現金配当は、1 株当たり 1.25 米ドルで、2004 年 12 月 28 日現在名簿に記載されている同社の株主に対し、2005 年 1 月 11 日付けで支払われると発表しました。

### **将来的観測に基づく記述について**

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、売上、製品発売、売上総利益率、営業利益率、営業費用、実効税率、発行済み株式数、および 1 株当たり利益に関する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・ 会社がビジネスを行っている主要地域での不慮の経済的、政治的環境変化
- ・ 新製品や既存の製品の新しいバージョンの開発や出荷の遅延
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品の市場投入
- ・ 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行が難航する可能性
- ・ アプリケーションソフトウェア、コンピュータおよびプリンタ需要の変動
- ・ 知的財産に関する紛争、訴訟
- ・ 流通経路の変更
- ・ ワームやウイルス等の悪質なコードが、当社のネットワークやアプリケーションに及ぼす影響
- ・ 製造委託業者との契約関係の中断および解除
- ・ 外国為替相場の変動
- ・ 会計基準の変更
- ・ 予期せぬ税率の変更
- ・ 会社の株式投資にともなう市場リスク
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説は、当社が証券取引委員会（SEC）に提出した、2003 年度年次決算報告書（Form10-K）および 2004 年度四半期決算報告書（Form10-Q）等の書類をご参照下さい。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを制作、管理、配信するためのソフトウェア ソリューションを提供する世界有数の企業です。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。